

4. ブドウの光反射マルチ栽培・垂直枝配置栽培スタートガイドの作成

1. 背景とねらい

ブドウは着色不良対策で着房数の制限が必須となり、品質向上のためには収量を低下させざるをえない状況となっています。そこで、生産者の収益性を改善するために、地表面に光反射シートを敷設することで、棚下の光環境を改善し、ブドウの品質および収量を改善する光反射マルチ栽培の技術を開発しました。また、光反射シートにより光環境の改善された棚下空間に新たに枝を配置することで、さらに多い収量を設定できる垂直枝配置栽培の技術を開発しました。これら技術の手引書として、スタートガイドを作成しました。

2. 成果の内容

- 1) ブドウの光反射マルチ栽培は、「ピオーネ」および「シャインマスカット」に適用でき、慣行着房数の約 1.3 倍および 1.4 倍に設定しても慣行と同等以上の品質の果実が生産できます(図 1, 表 1)。
- 2) ブドウの垂直枝配置栽培は、「シャインマスカット」に適用でき、垂直枝を配置し着果させると、垂直枝の果実は水平枝の果実よりも果粒および房が小さくなりますが、糖度基準を満たす果実を生産でき、水平枝と垂直枝をあわせて慣行着房数の 1.8 倍の設定が可能です(図 1, 表 1)。
- 3) ブドウの光反射マルチ栽培および垂直枝配置栽培は、ほ場の条件によっては、既存園でも改植せずに導入できます(図 2)。
- 4) 新たにブドウの光反射マルチ栽培および垂直枝配置栽培の導入を検討するための手引書として、これらの情報を記載したスタートガイドを作成しました。

3. 普及上の留意点

- 1) 地域およびほ場条件ごとに収量設定は異なるため、各栽培導入時の収量設定は、条件に合わせて個別に検討する必要があります。
- 2) スタートガイドは、果樹研究部において配布します。 (果樹研究部)

4. 具体的データ



図 1 ブドウの光反射マルチ栽培および垂直枝配置栽培の状況 (2014 年)

表 1 ブドウの光反射マルチ栽培および垂直枝配置栽培の収量設定の目安 (2014 年)

	ピオーネ		シャインマスカット		
	慣行 ²	光反射 マルチ栽培	慣行	光反射 マルチ栽培	垂直枝 配置栽培
10a当たり 収量(kg)	1600	2080	1800	2600	2600(水平枝) 590(垂直枝)

² 慣行は広島県農業経営指標における収量設定



図 2 既存ブドウ園における光反射マルチ栽培の導入条件(2014 年)